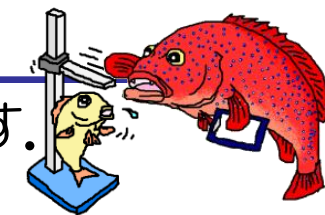




# さかなのおはなし

## 第20回:あかじん漁獲量の増加と体長制限

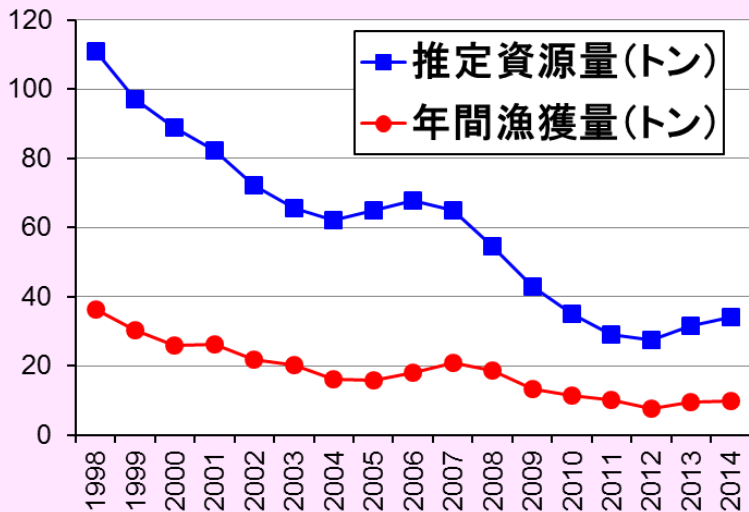
2016年2月1日 発行



水産海洋技術センターでは、漁獲量などの統計値や、市場調査で得た体長データを収集しています。今回は、近年のあかじん資源量の推定値と、体長制限の状況について報告したいと思います。

### 1. あかじん資源の推移

#### あかじんの推定資源量と漁獲量



左の表は、八重山海域におけるあかじん(スジアラ)の年間漁獲量(赤線)と推定資源量(青線)を示しています。資源量は1998年と比べ約3分の1に、漁獲量は約4分の1にまで減少してしまいました。八重山では、2007年から体長35cm未満のあかじんの漁獲を自粛する資源管理に取り組んでいますが、その効果は出てきていないのでしょうか？

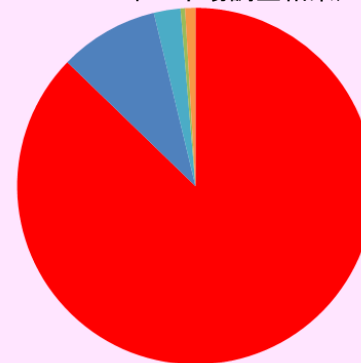
### 2. 体長制限の取り組み状況

#### 制限サイズに足りなかったあかじん漁獲物の割合(尾数%)

年	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
制限サイズ未満の割合(%)	27.8	12.3	11.3	11.4	5.4	13.9	21.6	30.6	25.5

#### 小型魚を獲っていた漁法の内訳 (2010-2014年の市場調査結果)

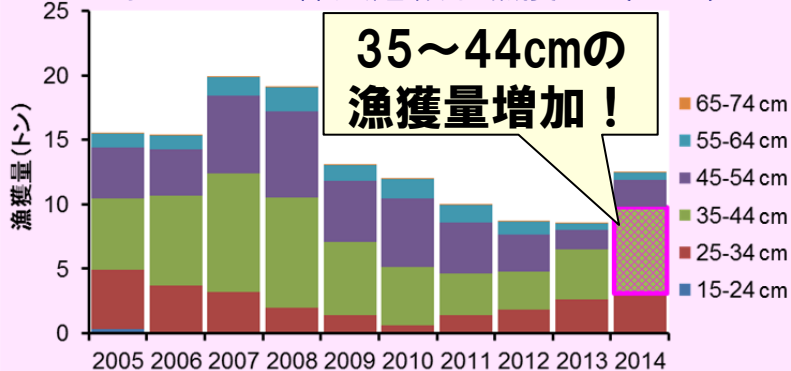
- 矛突き
- 釣り
- カゴ
- 刺網
- 追込み
- 定置



上の表は、2006年以降のあかじん漁獲物に占める35cm未満の漁獲物の割合です。ここ数年、残念ながら体長制限の達成状況が顕著に悪化しています。漁法別に小型魚の水揚げ割合を調べると、その約9割が矛突きによるものであることが分かりました(左の図)。

### 3. 直近の漁獲量は増加？

#### あかじんの体長階級別漁獲量(トン)

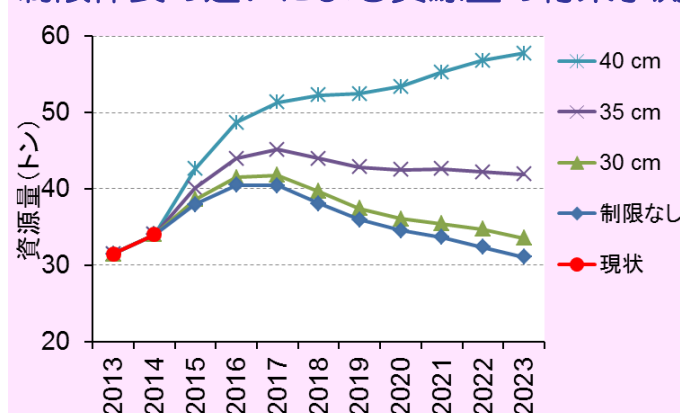


35~44cmの漁獲量増加!

左の図は、体長を10 cmごとのクラスに区切った近年のあかじん漁獲量です。2014年は、前年に比べ約40%漁獲量が増加していましたが、これは体長35~44 cm, 年齢にして3~4歳のあかじんが多く漁獲されたのが関係しています。

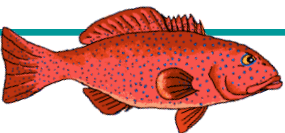
### 4. 八重山のあかじん資源はどうなる？

#### 制限体長の違いによる資源量の将来予測



左の図は、2015年以降の八重山海域のあかじん資源量をシミュレーションしたものです。解析の結果、現在八重山海域は漁獲圧が高すぎ(獲る人が多すぎる)、35cm以下を全く獲らなくても資源が増えにくい状況であると推定されました。

また近年の資源増加は、稚魚の生き残りが良い状況がたまたま続いていることを反映していると考えられ、現状のままでは再び資源量は低下していくと考えられます。せっきゃく資源が増えるチャンスにある今こそ、小型魚の漁獲を避ける努力が必要であると言えます。



沖縄県水産海洋技術センター石垣支所 石垣市字川平828-2 電話:0980-88-2255(担当:秋田)

←バックナンバーが見られます! <http://www.pref.okinawa.jp/fish/sakana-hanashi/index.html>

(注) 現状の体長制限の達成状況を、30cm未満漁獲せず、と評価し、その場合の将来予測結果との差額